

「SDGs Goal5 オレンジめがねキャンペーン」		取組開始時期	2020年3月	取組の カテゴリー	男女共同参画・機会の平等
1. 団体名	福井県鯖江市	2. 連携先の 団体	国連の友Asia-Pacific,(一社)福井県眼鏡協会,日本眼鏡関連団体協議会		
3. 取組 目的	国連が定める国際女性デーを国内外にPRすることで、女性のエンパワーメントを促進し、そのメッセージを世界に発信していく		4. 関連する ゴール		

5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

2018年、鯖江市長がNY国連本部でのSDGs推進会議にてスピーチを行った際、「めがねをかけていれば人の視線はめがねに行くので、SDGs推進のキャンペーンに活用できるのではないかとめがねはメッセージを伝える力がある」とのアドバイスを受けた。

この眼鏡の持つ力に着目し、鯖江市の地場産業である「めがね」とSDGs Goal 5のカラーである「オレンジ」、そして鯖江市のSDGsの取組の軸である「女性」と「SDGs」をキャッチツールに、国連の友Asia-Pacific,(一社)福井県眼鏡協会,日本眼鏡関連団体協議会と連携し、3月の1か月間、輝く女性を応援するキャンペーンを開催実施した。



キャンペーンでは、鯖江市のSDGsシンボルマーク「グローバル」を使用し、期間中、各企業が売り場やHPなどに啓発・PRのコーナーを設置することで、「めがね」を通して国連の定める3月8日「国際女性デー」を国内外にPRし、女性のエンパワーメントの促進を目指すと共に、「めがねのまちさばえ」のSDGsの取組やSDGs Goal5についても広く周知し、SDGsの更なる普及・啓発を目指した。

このキャンペーンを通して全国のめがね業界が一体となってSDGsの推進に取り組むことに繋がり、産地鯖江と全国の眼鏡小売店の連携に繋がった。

今年3月は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国際女性デーに合わせたイベント等は開催できなかったものの、今後も実施し、NY国連本部SDGs推進会議などで活動を報告するほか、国内外に情報を発信していく予定。



鯖江市のSDGsシンボルマーク「グローバル」

取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

全国の眼鏡販売店のネットワーク力を生かして「めがねのまちさばえ」の取組や、鯖江産地の眼鏡をPRできることで、認知度向上や地場産業の活性化が期待できる。

ステークホルダーとの連携

全国の眼鏡小売店と産地鯖江がSDGsの重要性を認識し、連携・協力した初の取組であり、「めがね」をきっかけに「国際女性デー」「SDGs Goal5」「めがねのまちさばえ」を広くPRすることができた。今後も連携による相乗効果が期待される。

モデル性・波及性

鯖江市がSDGsの中核をなすものとする「SDGs Goal5」を地場産業である「めがね」を通してPRするという新たな試みであり、このキャンペーンがきっかけとなり、産地と小売店が協働で眼鏡産業の活性化を目指したキャンペーンが開催されるなど、活動の拡大に繋がっている。